



次世代のチカラ
FUKUOKA

おかげさまで
活動8年目!

未来をつくる、チカラを育む。 NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA

2019年度 | 活動報告書 |

(2020年度活動計画含む)

多くのご支援のおかげで、2019年度も様々な取組みを実施させていただきました！

将来の活躍を応援する国内事業



世界が舞台、「親子で行く、修学旅行。」



「未来の政治について考える」特別授業



親と暮らせない子どもたちへの支援活動



御礼あいさつ

表紙下段に記載の応援企業様をはじめ、多くの支援者・協力者各位のおかげをもちまして、これまで数々の取組みを実施することができました。同時に、どれほどの子どもたちがそれぞれの将来への夢や責任感を大きくすることができたか、その数は計り知れません。皆様には、最大の感謝と御礼を申し上げます。

この度、2019年度1年間の活動報告を作成致しました。子どもたちが学び合う活動写真もお載せておりますので、どうかご覧ください。

令和2年4月1日

NPO法人
次世代のチカラFUKUOKA

代表 新 村 優



福岡とアジアの子どもたちを応援する「ヒーロー企業」!



アトモスダイニング㈱ / Anny Group(アニーループ) / 医療法人あんのうらクリニック / 医療法人勢成会 井口野間病院 / ㈱駿駅前不動産ホールディングス / ㈱オートワーク / ONO GROUP / ㈱海協リライアンス / ㈱環境開発 / ㈱九折 / 九州エステート㈱ / 九州自動車リース㈱ / ㈱九州ブレスサービス / ㈱クックチャムプラスシーアールジーエー / ㈱ケイ・アル・ジー / 医療法人 恵光会 原病院 / 医療法人 光川会 福岡脳神経外科病院 / 医療法人 光竹会 ごう脳神経外科クリニック / 社会保険労務士法人 COMMITMENT / 西部ガス㈱ / 桜坂総合法律事務所 / 三栄印刷㈱ / ㈱シーアンドイー / 篠原公認会計士事務所グループ / ㈱島田電気商会 / 医療法人 仁慈会 西原歯科 / スペクトラムアンドパートナーズ㈱ / 創ネット㈱ / ㈱創美 / 太平洋貿易㈱ / ㈱チヨダ / (合)ディアマインド / トリゼンフーズ㈱ / 税理士法人 西方会計 / 日商保険コンサルティング㈱ / ㈱NexStyle / ㈱ハッピートラベル / 社会医療法人 原土井病院 / 肉のヒサダヤ / 福岡クリーン産業㈱ / 福岡リバティライオンズクラブ / ふくよかケアプラザ大平寺 / ふくよかケアプラザ大名 / ㈱フジボーグ / ㈲堀兄弟運送 / 毎日リビング㈱ / ㈱マスプロ / ㈱みすは不動産鑑定所 / ㈱みらいメディクス / 明倫国際法律事務所 / ㈱メディカルブレイン / ㈱百田工務店 / ㈱ユニコム / ㈱リバーシーン物流 (50音順)

FUKUOKA の 未来課題を 学び合う



次世代のチカラ教室 2019.



200名を超える応募をいただき、福岡市内一円から小学6年生の皆さんのが集まってくれました。4人で1つの班を構成し、様々なテーマが設けられたグループディスカッションでは、活発な意見が飛び交い、班ごとに導き出した「答え」を発表し合いました。

初対面にもかかわらず、あっという間に仲良くなり、班の仲間と協力し合いながら頑張ってくれました。どうぞ、活動の様子をご覧ください。

福岡市月隈備蓄倉庫



まずははじめに、福岡市防災危機管理課／森山課長より、備蓄倉庫の役割や機能、大災害の発生に備えた日頃の準備の大切さ、福岡市の防災・減災に向けた取組みについて説明を受けました。



グループワークのテーマは、「①自宅での備え、何があると便利? ②防災・減災の新しい取組みを考案!」各班からの発表の後は、福岡市の職員皆さんと一緒に答え合わせ。



排泄物を素早く固めて、密封処理することができる簡易トイレで実験させてもらいました。避難所生活では何が不便となるのか、生活衛生備品の備えについて各自宅で準備できることを考えました。



教室当日は、皆さんにしっかりと「防災」を学んでもらいました。一緒にランプも製作しましたね。ランプの灯りより、皆さんの瞳のほうが輝いていましたよ(笑)今回の学習を生かし、災害への備えを家庭でもしっかり進めてくださいね。

福岡市 防災・危機管理課／森山さん

福岡市動物愛護管理センター



ノラ犬・猫や飼えなくなったペットたちが一時に保護される施設を訪問します。まずは、本河所長からセンターの役割や運営、ここに集まっている犬・猫の状況についてお話を聞きました。



2グループに分かれて、施設内各所の見学を行われました。案内役は、獣医師である吉柳さん。手術室を案内いただき、保護動物の不妊手術や殺処分の際の投薬について説明がありました。



冷凍庫の鍵を開けてもらいました。そこには、見学当日の2日前に殺処分された柴犬が麻袋に。センターでは、新しい飼い主を探す取組みが懸命に行われていますが、この柴犬は、虐待を受けていたせいか、凶暴性がどうしても改善すること無く…



集められた犬たちが一時保護されている施設を見学。過去には、殺処分手法に二酸化炭素が用いられており、一度に何十頭もガス室へと押し入れるために動く電動壁についても説明を受けました。



見学後にグループワーク。テーマは、「①飼い主亡き後のペットをどう救う? ②センターへの収容ゼロを目指した取組み」各班ごとに、動物愛護への取組みや、ペットを飼うことへの責任などについて発表してもらいました。

福岡市動物愛護管理センター／本河さん

福岡空港国際線ターミナル



福岡空港国際線ターミナルでは、特別室をお借りして、この5年で大きく変わる空港施設や、これから益々進む都市の国際化、アジア各国との交流の深化について、はじめに説明を受けました。



滑走路をはじめ空港の敷地全体が見えるデッキに上がり、今後の空港整備の展望をお聞きしました。「空港テーマパーク」を目指し、国内線・国際線の両ターミナルビルは一変しますし、滑走路も5年後には2本になります。



グループワークのテーマは、「①海外観光客にFUKUOKAが選ばれるためには? ②日本人の海外経験を応援するプロジェクト!」。班ごとに、空港スタッフになったつもりで将来の国際分野について発表してもらいました。

福岡空港に関心をもって、積極果敢にディベートされている皆さんの姿に感銘を受けました。皆さんはまだ若いです。積極的に知識を増やしてください。頭の中に入れた知識は、減ることはありません。将来へ向けた、大きな自分への投資となります。皆さんの今後の活躍を祈念いたします。

福岡国際空港株／中島さん

筥崎宮



古くから人が集まる交易都市「福博」の歴史を体感するために、歴史上の人物との縁も深い筥崎宮を訪問しました。田村権禰宜から博多の歴史や文化を教えていただく機会となりました!



筥崎宮を舞台に繰り広げられた歴史的な出来事を学びながら、宮内施設を見学しました! 日頃の暮らしや家族に対する感謝の気持ちで、正式参拝と御払いの体験もありました!



400年以上前に、太閤・豊臣秀吉が「博多の町割り」を計画する会議を連日行ったとされる「拝殿」の場所を借りて、歴史や文化に関する事など様々な質問に答えていただきました!

筥崎宮／田村さん

神社の歴史等よりも「賽銭はいくら? 御利益はあるのか?」など無邪気に聞いてくるのが微笑ましく、回答に困りました(笑)手水作法や神前参拝作法では、玉串代表に合わせてみんなでお参り出来ました。これからも、博多の歴史や伝統文化に触れていただき、神様、仏様、ご先祖様を尊び大切にする心を養ってもらえると嬉しいです。

福岡市議会本会議場



福岡市議会／本会議場への入場体験。全員、議席に着席してもらい、政治や議会に関するQ&Aの時間では、多くの質問が飛び交いました! 議会・行政の役割を学びました!



議場内の設備など隅々見学しながら、議会がどのように運営されているかを確認。「市長席」や「議長席」の座り心地を体験した後は、将来の政治参加を約束して記念撮影!



6年後には、自分に投票権が!
「①若年層の政治や社会への低関心の理由 ②投票率向上プロジェクト」をテーマに、グループディスカッション・発表を行いました!



福岡市役所／議会棟9Fにある「議長室」へサプライズ表敬訪問させてもらいました! 歓迎いただいた第73代・阿部議長からは、将来に向けた励ましの言葉を受け取りました。

議場見学では、本物の議席に座ったり、活発に質問をしたり、とても有意義な体験ができたことだと思います。今度はぜひ、実際の本会議を見に来て、福岡市議会や市政をもっと身近に感じてほしいと思います。

福岡市議会事務局／植山さん



令和2年2月12日(水)西日本新聞朝刊

夢は、世界へ。 親子で行く、修学旅行！2019.

夢は、世界へ。福岡の親子・約80名が参加してくれました。
現地受け入れ機関による手厚い協力の下、参加親子の皆さんには、
他では経験できない貴重な国際交流や体験を楽しんでもらいました。
視野や価値観を世界に広げ、将来の夢を大きくしてくれただけでなく、
同世代の子どもたちの暮らしや生き方に触ることで、日本での日常に感謝し、
自らの意識を見つめ直す機会となりました。今後も、FUKUOKAとアジアを
繋げる架け橋となるように、地道な草の根活動を続けていきたいと思います。

ミャンマー



ヤンゴン市役所／市庁舎

福岡市との姉妹都市・ヤンゴン市の市庁舎を訪ね、出向職員の野田さんから両市の取組みについて説明を受けました。謁見室では、子どもたちとソーメー長市との意見交換の機会をいただきました。



ヤタボン寺院孤児院

少数民族の孤児たちが暮らす施設へ、食糧支援としてお米(4.2t)を届けに行きました。言葉は通じなくても、おもちゃを使いながらの交流の時間はとても心に残る経験になったはずです。



ダンマラキッタ小・中学校

有志からの支援によって運営されている学校を訪ね、歌や会話の交流を行いました。訪問時には、熱烈な歓迎をいただき、日本とミャンマーでの暮らしや文化を理解し合える機会でした。



日本ODAフェリー乗船

日本のODAにより寄贈されたフェリーに乗船して、ヤンゴン川を渡りました。対岸のダラ地区では、巨大ゴミ山を訪ねた際、まだ使えそうな物を探す小さな子どもの姿に遭遇しました。



在ミャンマー日本国大使館

大使館では、日本とミャンマーとの友好関係や将来に向けた取組みについて学びました。査証発給などの領事業務の様子も見せてもらい、ミャンマーの若者の日本に抱く希望を肌で感じたようです。



緑の動物園

早朝の涼しい時間を利用して、都心のオアシス・動物園をバギーで周遊。象へのエサやりも体験できました。近い将来、ミャンマーから福岡市動物園へ4頭の象がやって来ます！



シュエダゴンパゴダ

多くの市民が瞑想する神聖なシュエダゴンパゴダでは、歴史文化をたくさん教えてもらしながら、裸足でお参りしました。ミャンマー市場への挑戦について学習しました。大人はビール、子どもたちはジュースで乾杯しました。



ミャンマーピュルワリー

5年ほど前から日系資本となったブルワリーを特別に見学させてもらいました。ミャンマー市場への挑戦について学習しました。大人はビール、子どもたちはジュースで乾杯しました。

カンボジア



まなぶ日本語学校

カンボジア教育省の支援の下、学費無料で運営を始めた「PIFまなぶ日本語学校」。第1期卒業生の皆さんと一緒に、日本語で将来の夢を語り合いました。お互いに、夢は世界へ！



SFODA 孤児院

子どもたち同士で協力しながら、市場で買出した材料で昼食(焼きそば)を作り、孤児院の子どもたちへ振る舞いました。一緒に昼食を楽しんだ後には、ダンス交流なども行われました。



コンポンスプレー孤児院

ブンペンから車で3時間かけて、お米(1t)を届けに行きました。交流時間には、将来の夢について質問し合いました。孤児院の子どもたちの将来の夢で多かったのが、サッカー選手と学校の先生。



サンライズジャパンホスピタル

現地で唯一の日系病院を訪ね、途上国での医療・救急の大切さについて学びました。施設見学をさせてもらいましたが、カンボジアの医療発展に寄りしようと奮迅する様子を実感しました。



在カンボジア日本国大使館

大使館では、外交のしくみや役割について教えていただきました。日本企業の進出などカンボジアの経済発展についても学び、日本・カンボジア両国の将来について考える機会となりました。



キリングフィールド（旧処刑場）

ポルポト政権時代の負の遺産、旧強制収容所と旧処刑場を訪ね、アジアの戦争の歴史に触れました。数えきれない子どもたちの頭が打ちつけられた大きなヤシの木(キリングツリー)を前に、全員で平和の尊さを考えました。



ポンペウ日本人学校

現地の日本人が通う小・中学校施設を訪ね、教頭先生からカンボジアでの教育環境や学校の取組みについて教えてもらいました。みんなで持ち寄った図書を寄贈することができました。



夜の遊園地

涼しくなった夕方から賑わう遊園地は、お楽しみの時間。子どもも大人も、たくさんのイルミネーションで装飾された乗り物を楽しみました。すっかりカンボジアプログラムの恒例行事となりました。

ベトナム



ツヅチ病院／平和村施設

ベトナム戦争後、現在も続く枯れ葉剤被害の現状について、日本でも有名な「ドクちゃん」本人から教えていただくとても貴重な機会となりました。障がい児が暮らす「平和村」施設も見学しました。



クチトンネル／ベトナム戦争跡
ベトナム戦争時のゲリラ戦の舞台。400kmにも及ぶ地下トンネルが広範囲に広がる「クチ」を訪問しました。戦場で実際に起こったことを体感し、戦争の本質を学びました。



在ホーチミン日本国総領事館

総領事館では、琉球領事からベトナムでの暮らしや両国の友好・連携についてお話しがありました。日本を代表して現地で外交業務に励む皆さんに感謝して、花束を届けました。



プラット社ベトナム工場

プラット社は、福岡に本社を置く介護ベッドメーカーです。ホーチミンから車で1時間ほどの製造工場を訪ね、現地の職員さんが働く様子や海外事業について学習しました。



サムライ日本語学校

懸命に日本語を学ぶ学生皆さんと一緒に、日本語でのゲームや交流授業を楽しみました。「将来、ぜひ日本に来てください」と、日本から持ち寄った図書をお渡しました。



タイソン島／ジャングルクルーズ
クメール人が多く暮らすミートーからメコン川を渡って、果物栽培で有名なタイソン島に上陸。リアルジャングルクルーズを体験させてもらい、島民の暮らしを目の当たりにしました。

タイ



クロントイスラムの児童養護施設

バンコク都心部に位置する最大のスラム「クロントイ」。スラムの成立立ちや暮らしなど、世界の貧困について学んだ後は、スラム内の児童施設に文房具を届けに行きました。子どもたちは、異国からの訪問に大喜びでした。



トーンロー日本生鮮卸売市場

日本全国から新鮮な魚・肉・野菜が集まるトーンローの生鮮市場を訪ね、バンコクでの日本食材の流通や日本食文化の広がりについて学びました。市場の食材は、日本料理店やタイの家庭に届きます。



アユタヤ遺跡群

古くから日本人も多く活躍したアジアの交易拠点、アユタヤの遺跡群を回り、アジア広域の歴史について学びました。遺跡では、子どもたちが乗馬の象乗り体験が実現しました。できたてのヤクルトも試飲しました。



パーソネル・コンサルタント本社

福岡出身の小田原社長がバンコクを中心で経営する人材派遣会社を訪ね、スタッフの皆さんから現地でのお仕事や働き方について教えていただきました。日本語を必要とする仕事も多いそうです。



水上市場／ココナツ割り

バンコク郊外の水上マーケットでは、実際に小舟に乗り込み、現地の歴史のある生活様式や生活文化を学びました。現地ならではの、ココナツ割りの体験もできました。

台湾



台湾総統府（旧台湾総督府）

日本統治時代の台湾総督府(現・台湾総統府)を見学し、台日の歴史を学びました。第2次大戦が終結し、日本統治を終えた後も、台湾では、内省人(当時の台湾人)が中国大陸から渡來した外省人による統制を受けてきた複雑な歴史があります。



台湾 TOTO 社苗栗工場

苗栗県のトイレ製造工場を訪ね、福岡企業の海外での挑戦について話をお聞きしました。毎年恒例のミニチュアトイレづくり体験は、子どもたちに一番人気! 焼き上げたミニトイレが、後日、台湾から自宅に届きました。



十份／天燈飛ばし

異国情緒あふれる九份と十份を訪ね、過去に鉱山経済が栄えていたことを知りました。家族ごとに将来への夢と希望を込めて、台湾の大空へ天燈を飛ばしました。天燈が空に散らばり、幻想的でした。



在台北交流協会

中国への配慮を理由に、日本は台湾との間には国交を結んでいません。その台湾で大使館としての役割を担う「交流協会」を訪ね、台湾に関する特別授業を実施いただきました。



原住民族博物館

現在、台湾人のほとんどは、中国南部にルーツを持ちます。博物館では、それ以前の原住民の暮らしやその後の迫害から現在に至るまでを学ぶことで、台湾島のルーツを紐解きました。

華味鳥忠孝店

福岡発の食文化を台湾で広めようと取組まれる「華味鳥」さんをお訪ねして、現地での福岡食を体験しながら、苦労話も交えた台湾市場での挑戦についてお聞きしました。

親と暮らすことができない子どもたち。

アジア諸国での支援活動



有志皆様の善意とご協力により、2019年度は一年を通して、アジアの子どもたちへの支援活動に注力することができました。支援物資は主に、お米(食料)や衣類・文房具などです。各国現地の施設まで直接届けに行きますので、子どもたちと触れ合うことで、いつもお土産に沢山の「笑顔」を心にもらっています。将来は、この中から1人でも多く福岡を訪問してもらいたいものです。

食糧支援

2019年度は1年間で、カンボジアやミャンマーの孤児院施設へ5回届けることができました。「明日」を迎えるための貴重な支援です。



現地授業



女子プロゴルファーの皆さんからも支援!

2019年度は、4人の女子プロゴルファーの皆さんからチャリティ支援を受けました。主に、ミャンマー・カンボジアの孤児院施設で、貴重な食糧支援に役立てられました。



その他



「将来の夢」お絵かき大会を計画

今年度
チャレンジ!

これまで、孤児院施設での学習環境充実のために、ノートや鉛筆などの文房具支援に取組んできました。それに加えて2020年度は、各施設の子どもたちと一緒に「お絵かき大会」を計画したいと考えています。



「今日を生きる」ことに懸命な彼らですが、この「お絵かき大会」を通して、自分の将来に想いを張り巡らせてもらい、未来への希望を胸に自分自身と向き合っていくとする機会になればと、願いを寄せるところです。

今年度
チャレンジ!

福岡の乳児院・児童養護施設などへの支援計画



福岡市内には、乳児院が2施設、児童養護施設が3施設あります。その他にも、シェルターなどの民間の児童保護施設や里親家庭も多くあります。親と一緒に暮らすことのできない子どもたちの健全な成長・育成に役立つ支援について考えていきたいと思います。協力いただけた企業様とも連携して、子どもたちや施設が必要としている物を届ける取組みや、将来の活躍を支える取組みを実施して参ります。



昨年度は、市内児童養護施設(3施設)へ、女子プロゴルファー青木瀬令奈選手からの衣類・スポーツウェア支援と一緒に届けることができました。

海を渡った連携は、 未来への若葉

このようなアジア各国での活動を始めてから4年が経ちます。

この間、各国現地で様々な活動や交流を積み重ねてきました。気づけば、この活動への理解を示していただく協力者が各国で沢山きました。これからも、現地の子どもたちの支援も含めた有意義な交流事業の輪を広げながら、多くの国際連携を進めていきたいと考えています。



瀧野さん(ミャンマー)

ミャンマーの若者たちに日本語を教えるながら、10年以上も前からいくつもの孤児院・学校施設へ支援を行う「ミスター仙人」。これからも一緒に支援・交流活動を発展させていきます。

チュオンナロン大臣(カンボジア)

カンボジア王国/教育省の大臣、福岡市とブノンベン市の交流・連携の発展に期待を寄せててくれています。今後も具体的な国際協議を進めます。



マウン・マウン・ソー市長(ミャンマー)

ヤンゴン市/市長。ヤンゴン市は福岡市の姉妹都市です。夏のミャンマー訪問時には、市庁舎で福岡の子どもたちと交流してくれました。



ガ先生(ベトナム)

ホーチミン市師範大学の先生で、日本語学部の学部長。生徒の皆さんとの交流事業が続いている。これからも日越の草の根交流に、一緒に取組んでいきます。



ムーン僧侶(ミャンマー)

ミャンマーの少数民族の孤児たち280人を育てるヤタナボン寺院の代表僧侶(大師)。今後も協力しながら、子どもたちが日本に興味を抱くような取組みを考えていきます。



林先生(台湾)

発展途上国環境保護活動を行うOISCAの台湾代表。台日の子どもたちによる共同事業として、台北市内の中学校での植林活動などを一緒に実施してきました。

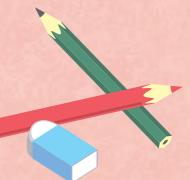
「未来の政治について考える」特別授業



福岡市内の小学校で、6年生を対象に特別授業を実施。

講義やグループワークを繰り返しながら、「議会のしくみ」や「政治への関わり方」について班の仲間で話し合い、将来への考えを深めてもらいました。

この授業を通じて、将来「投票」に行くということだけでなく、政治・社会を自分ゴトとして考え、責任ある行動を心がけたいと、授業を受けたみんなが力強く約束してくれました!



子ども支援を目指す 学生たちの学びの場 はじめの一歩キャンパス



「はじめの一歩キャンパス」は、将来、子ども支援の現場を目指す学生たちが、共に子ども支援の現状を知り、自分たちにできることを学び、考える場です。

「NPO法人まちづくりLAB」と協力しながら、昨年度の事業開始を目指しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により開催延期となりました。社会情勢に注視しながら、仕切り直しを図りたいと考えています。



月1回の頻度で開催を目指します

- 第1回テーマ: 非行少年たちへの支援の現場から
- 第2回テーマ: 児童相談所の現場から
- 第3回テーマ: 児童養護施設を知ろう! 和白青松園を見学

子どもの成長を支えていくための教育・福祉の現場には、考えるべき多くの課題があります。増え続ける虐待や引きこもり、心に苦しみを抱えた非行少年、自殺を選択する子どもたち。

現場で活躍する皆さんを講師として招いて意見交換をしたり、子ども支援の現場を訪ね、職員さんから生の声をお聞きしたり、子ども支援の充実に向けて、人材や環境のすそ野を広げる取組みを実施する予定です。

SFODA 孤児院

ブノンペン郊外トレンレサップ川沿いにある孤児院。ここでは、いつも炊き出し支援をして、昼食やダンスなどを子どもたちと一緒に楽しんでいます。



カンボジア



タイ

クロントイスラムの児童施設

バンコク最大のスラムにある児童施設。ここは私が世界の絶対的貧困をはじめて目の当たりにした場所です。彼らから「教育」の大切さを心底教えられました。



ヤタナポン寺院孤児院

ミャンマーは多民族国家であり、ここは少数民族の孤児たちが保護される孤児院です。栄養失調で命を失う子どもも少なくありません。

ダンマラキッタ小・中学校

ヤンゴン市郊外の貧困地区サウスダゴーにある学校です。訪問時は、子どもたちが盛大に迎えてくれます。寄付に頼りながらの運営が続いているです。



ミャンマー



ミャンマー

コンポンスプーの孤児院

ブノンペンから車で3時間、水道も通っていない地区にある孤児院です。ここで暮らす子どもたちにとって「初めての日本人」が私たちでした。



カンボジア

タンリンの尼孤児院

ここは女の子の孤児だけが暮らす孤児院です。身寄りの無い女の子は人身売買の対象となる悲しい現実があり、身を守るため大切な髪の毛を剃ります。

親と一緒に暮らせない子どもたちを元気に!

Be hero for children.



2020年度からプロジェクトを本格化!
「Be hero for children.」賛同者・協力者をひとりずつ募りながら、少しづつでも支援の輪を広げていきたいと考えています。福岡とアジアの子どもたちの将来に灯りを燈す持続的な取組みを目指します。



主な支援先

- ①アジアの孤児院やスラムの学校など
- ②福岡の乳児院・児童養護施設など
- ③福岡の里親家庭など その他

——パートナー企業様を募集しています。——

連絡先 fukuoka@jisedadainochikara.jp

講演依頼のお願いです。

「世界の子どもたち」

「世界の子どもたち」と題して、支援を通して絆を深めたアジアの子どもたちについて話す機会があります。彼らの日常の暮らしや彼らが抱く将来への希望、あるいは教育を受けることができる境遇への感謝について話をすると、子どもたちも大人の皆さんも、目つき・顔つき・姿勢が一斉に変わり、心が確実に動く瞬間を感じます。「私たちこそ、もっと頑張ろう」という気持ちを多くの方と共有できれば幸いです。



講演の目的は2つあります。1つは支援の輪を地道に広げていくことです。もう1つは、もし講演料を頂戴した場合には、その講演料を子どもたちの支援に投することです。趣旨に賛同の下、ご協力いただける方はぜひ講演先をご紹介ください。

NPO法人
次世代のチカラFUKUOKA
代表 新村 優



公式ホームページは検索もしくはQRコードからご覧いただけます。

次世代のチカラ 検索
<http://jisedadainochikara.jp/index.html>

